

生命工学科

<https://www.tuat.ac.jp/department/engineering/biolife/>



「生命科学」を「工学」と融合し新しい技術を生み出す

学科の特徴

生命工学科は、生命に関連する科学技術全てを包含するため、極めて多彩な学問領域を取り扱います。また生物、物理、化学以外に工学に関する基礎知識を学びます。カリキュラムでは特に1年生から4年生まで充実した実験・実習により実際に手を動かした学びを行います。英語に関しても1～3年生まで常に英語の授業を行い実践的なコミュニケーション能力を養います。



こんな人を待っています！

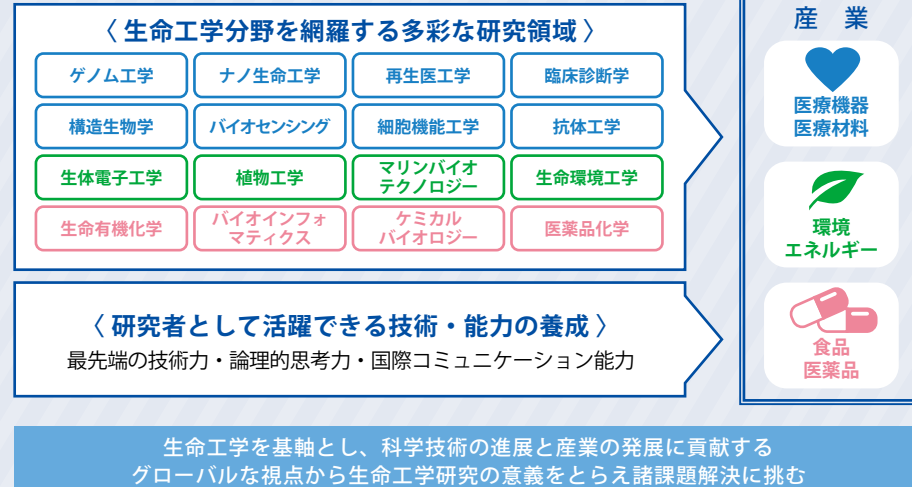
- 1 **ライフサイエンスと
その応用に強い興味・関心がある人**
- 2 **客観的事実に基づく論理的な思考により
結論を導き出せる人**
- 3 **質問を正しく理解し、
自分の考えをわかりやすく伝えられる人**
- 4 **博士号を取得し国際的な研究者に
なりたいと考えている人**



生命工学科のプロフィール

本学生命工学科は、我が国で初めて設置された生命工学科であり、全国に先駆けて生命工学のエキスパートを国内外に送り出してきました。分子・遺伝子レベルから、個体に至るまで、多くの研究領域から得られた知見を基に、医療機器・医療材料、食品・医薬品、環境・エネルギー等、様々な新しい産業を創出しています。

生命工学から新たな研究分野・産業の創出へ

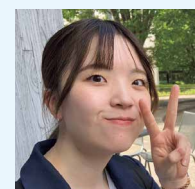


先輩の声



竜田剛志 令和3年度入学 (SAIL入試)

生命工学科では、基本的な生物、化学、物理だけでなく、これらが複合した生化学や物理化学といった生命に関係する専門的な分野まで幅広く学ぶことができ、とてもいい勉強になりました。また、外部の専門家による講義もあり、最先端の知識に触れることができました。学生実験では、1年次から実験が充実しており、基礎的な技術だけでなく、実用的なスキルも身につけることができました。実験を通じて実践的な知識が深まり、配属された研究室での研究生活に役立つ力が養われました。



太田菜緒 令和4年度入学 (SAIL入試)

生命工学科では、ヒトを分子レベルで理解し、食品・医薬品・医療など多分野への応用が可能です。この分野では、生物・化学・物理といった基礎から最先端技術まで段階的に学べるカリキュラムが整っています。私はバイオイノフォマティクスを研究し、AIやディープラーニング技術と組み合わせて遺伝子解析に取り組んでいます。生命工学は発展が期待されるホットな分野です。男女比も半々で、交流しやすい環境も魅力です。最先端の研究と一緒に挑戦しませんか？お待ちしております！

選抜方法

1次選考は書類審査です！

提出された志望理由書・特別活動レポート・調査書をもとに審査します。特別活動レポートは、自然科学に関わる実験や調査をまとめたものを提出してください。自然科学に関わるものであれば、物理、化学、生物など、どの分野のものでも構いません。共同で行なった活動の場合には自分が大きく関与した部分を明確に示してください。

2次選考は面接です！

面接では、特別活動レポートに関するプレゼンテーションと質疑応答をして頂きます。科学技術全般に関する基礎学力と論理的な思考力、さらに潜在的な能力を総合的に評価します。自然を探究することに対する興味、熱意をアピールしてください。